

農場における動物用医薬品の情報収集 —電子処方システムの構築を目指して—

日本の農場では、家畜の健康を守り、安全な畜産物を安定的・持続的に生産していくために抗生物質等の動物用医薬品が使用されています。電子処方システムを通じて農場における動物用医薬品の使用情報を継続的に把握し、薬剤耐性菌のコントロールに役立てようとする新たな取り組みについて一緒に考えていきましょう。



2023年10月17日(火) 13:00～ ハイブリッド開催

東京大学本郷キャンパス小柴ホール (定員170名) ・ オンライン (定員500名)

○ プログラム ○

日英同時通訳

講演1 「JRA事業の目的と成果」 (東京大学 芳賀猛)

講演2 「世界の動物分野における抗菌剤使用の状況とWOAHの取り組み」 (WOAH 家田菜穂子)

講演3 「日本の電子指示書システムの取組～AMR対策に向けて～」 (農林水産省 白川崇大)

講演4 「欧米の畜産分野における抗菌剤使用の状況」 (東京大学 杉浦勝明)

講演5 「イタリアの電子処方箋システム」

(養豚獣医師、UEVP(欧州獣医師連合)副会長 Giovanbattista Guadagnini)

パネルディスカッション 「電子処方システムデータの活用」 (パネリスト: G. Guadagnini・白川崇大・

杉浦勝明・香川光生〔香川家畜診療所〕)・(モデレーター:石橋朋子〔東京大学〕)

参加無料・事前登録制 登録締切: 2023/10/12 (木)

参加登録方法: 右記QRコードまたは下記URLより事前登録

<https://forms.office.com/r/5CqWCTddSq>

お問合せ: 東京大学大学院農学生命科学研究科OSG国際防疫獣医学寄付講座

MAIL: osgkokusaiboueki@gmail.com 講座HP: <https://park.itc.u-tokyo.ac.jp/kokusaiboueki/>



Funded by
the European Union

本シンポジウムはJRA、日本及びEUの支援を受けて実施しています